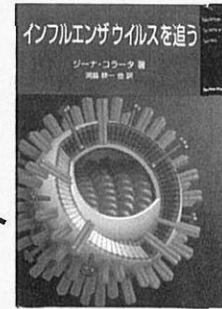


## インフルエンザワクチンと ギランバレー症候群(1)



- 1976:米国民へのワクチン接種計画スタート
- CBSイブニングニュース:批判意見を紹介
  - 次々と批判者:ラルフ・ネーダー...
- 保険会社は製造会社の損害賠償保険を引き受けず
- 統計上の確率論議と個人がそれをどう感じるかは別問題
- ワクチンに関する損害賠償は、国が引き受ける法案成立
  - 在郷軍人病事件に引きずられた政治的判断
- ワクチン接種後の突然死にマスコミ殺到、報道合戦始まる
- ギランバレー症候群(GBS)の症例あり

## インフルエンザワクチンと ギランバレー症候群(2)



- ワクチン接種後GBS発症例あり。
- 文献的には因果関係否定的であるが、報告Drは因果関係を誤解
- CDCは疫学的確認のため調査
  - ワクチン+ ⇒ GBSと診断されやすい
  - ワクチン- ⇒ nonGBSの診断を模索
    - ⇒ ワクチン接種例にギランバレー症候群疑い例が多数報告される
- 報道加熱 ⇒ ワクチン接種計画中止
- 訴訟地獄 : 3917件、35億ドル
- 後に、因果関係否定
  - 米軍で170万人に2回接種
    - ワクチン接種前のGBS発症頻度からは17名の発症が予測
      - ⇒ 実際は13名、GB増加なし
  - オランダは150万人に接種し、GBSの増加なし